沖縄三育小学校 学校通信　　2019年11月29日発行

イエスさまのように

認め合い、仕える子どもを目指して

校訓　「だから、何事でも人々からしてほしいと望むことは、人々にもその通りにせよ。」

スケート教室（上級生）

巻頭言　　校長　小原義信

クリスマス物語は旅のドラマ

クリスマスの季節となりました。様々なクリスマスの催し物や礼拝、コンサートなどが、いたるところで予定されています。小学生も自分たちのキャロリングやコンサートのために日々練習に励んでいます。

聖書のクリスマス物語にはいろいろな出来事があります。その多くが、旅が舞台となっています。東の国からやってきた学者たちの旅、ヨセフとマリアの住民登録のための旅、イエスキリストが誕生した後、ヘロデ王の殺戮を逃れていったエジプトへの旅、エジプトから故郷ナザレへ戻る旅、どれも安易な旅ではありませんでした。旅の途中にどんな事故や事件に巻き込まれるか分かりません。強盗に襲われることもしばしばあったようです。昔の旅は今のような交通手段はなく、ほとんどが徒歩でした。自動車や飛行機のように頑丈な鉄やガラスに囲まれていることもありません。常に危険と隣り合わせだったことでしょう。

イエスキリストは布にくるまれ飼い葉桶の中に寝かされました。当時、旅人は常に余分の布を持ち歩いていたといわれています。それは死者を包むための布でした。旅の途中で旅人自身が死に至ることもあったでしょうし、道に倒れている人と遭遇したかもしれません。旅はいつも死と隣り合わせだったことを想像させます。

ところが、旅には常に持ち歩いていたと思われるあの布が、マリアとヨセフにとっては息子の誕生に使われたのです。イエスキリストの誕生の意味を象徴するかのようです。イエスキリストの誕生は、人類を死から永遠の命へ至らせるためでした。だから、クリスマス物語は喜びと希望に満ちあふれているのです。

私たちの人生は、よく旅にたとえられます。今、５年生は１月に予定されている修学旅行の準備の真っ最中です。行き先については勿論、誰と一緒の部屋か、飛行機の隣の座席は？ 持ち物は？ 話題が絶えません。 旅が楽しいものになるかどうかは、どのような同行者と一緒に出かけるかも大事な要素です。

私たちの人生の旅も、豊かになるのかどうかは、誰が同行者になるかにもよります。昔の旅が死と隣り合わせだったように、人生の旅においてもどんなことが起こるか分かりません。でも、人生の同行者である家族が支えになるかもしれませんし、友人、近隣の人がそうなるかもしれません。最高の同行者はイエスキリストであると聖書は教えています。“イエスキリストが共に歩んでくださる道は幸福である”と。

「見よ、わたしは世の終りまで、いつもあなたがたと共にいるのである。」マタイ２８:２０

昔の旅に携帯していた布は、大切な役目を果たしました。人生の旅においても様々な携帯品が必要です。聖書という携帯品は、人生の暗い夜道も、困難で危険な道も、その御言葉によって励まし、平安を得させてくれます。

「あなたの御言葉は、わたしの道の光、わたしの歩みを照らす灯。」詩編１１９:１０５

豊かな人生の礎である本当のクリスマスの意味を、三育の子どもたちは讃美を通して精一杯伝えます。皆様が素敵で幸せなクリスマスを過ごされますようにと祈ります。

◇ 「ミニコンサート」12月5日(木)

場所：アドベンチストメディカルセンター

①11:00　外来ロビー：1～3年生
②13:45　外来ロビー：4～6年生
③14:05　3階病棟　：4～6年生

患者さんに小学生の歌声を通してクリスマスの喜びをお伝えします。保護者の皆様も観覧・見学可能です。

◇ 「キャロリング」(ミニコンサート)
12月6日(金)

場所：サンエー西原シティー(イベント広場)
時間：　午後1:30～2:10

小学生が讃美歌を歌います。お時間のある方は、是非聞きにいらしてください。この場所でコンサートをはじめて7年目となりました。サンエー西原シティーにとっても恒例行事になっているとのことです。

この日は通常登校です。コンサート終了後は全員学校にもどり、通常下校いたします。

◇ 漢字検定のお知らせ

漢字検定日：1月17日（金）15:45～
※申込締切日：12月9日（月）

上記の申し込み締切日までに学校への提出をお願いいたします。

【 学校目標 】

＜年間＞
『イエス様のように』
～認め合い、仕える子どもをめざして～

＜2学期＞
自分で考えて行動する子どもになろう

＜12月の目標＞
讃美を通してイエス様をあらわす子ども

＜12月の暗唱聖句＞
「進んで行う気持ちがあれば、持たないものではなく、持っているものに応じて、神に受け入れられるのです。」
コリントニ8：12

勉強や習い事など、なんでも良いことに自ら進んで取り組むことが出来れば、他と比較されやすいこのご時世の中でも、生きる力となるでしょう。大切なことに取り組ませているようでも「自主性」がないとするなら、いつかその事実を刈り取らなければなりません。自主性を育てるとは「答えは与えるものではなく、自分で見つけるもの」と腹を決め、一緒に考え「待つ」ということです。誰もが良いものを持っています。それが発見され、それが大切にされるなら、ご本人はおろか周りの人にも良い影響をふるまうことになると思うのです。

チャプレン　植田祐幸

◇ 「三育合同クリスマスコンサート」
12月15日(日)

場所・　さわふじ未来ホール（西原町）
13:30　開場
14:00　開演
15:30　終了予定

児童の流れ
12:45　さわふじ未来ホール集合―リハーサル
（弁当を持参し12:00集合も可能です）
13:30　開場
14:00　コンサート開始
15:30　終了予定
（終了次第児童を保護者へ引渡します）

集合／解散は現地(さわふじ未来ホール)です。保護者の方は送迎をよろしくお願い致します。
（スクールバスの運行はありません。）

保護者、ご家族の観覧について
ホールの座席数に限りがあります。小学校については、原則1家族3席の割り当てです。本日整理券を配布致します。必要のない席数がありましたら担任にお知らせ下さい。また、席数の追加希望のある方はご相談下さい。余席がでましたら調整いたします。